

週間市場レポート (2021年3月8日~3月12日)

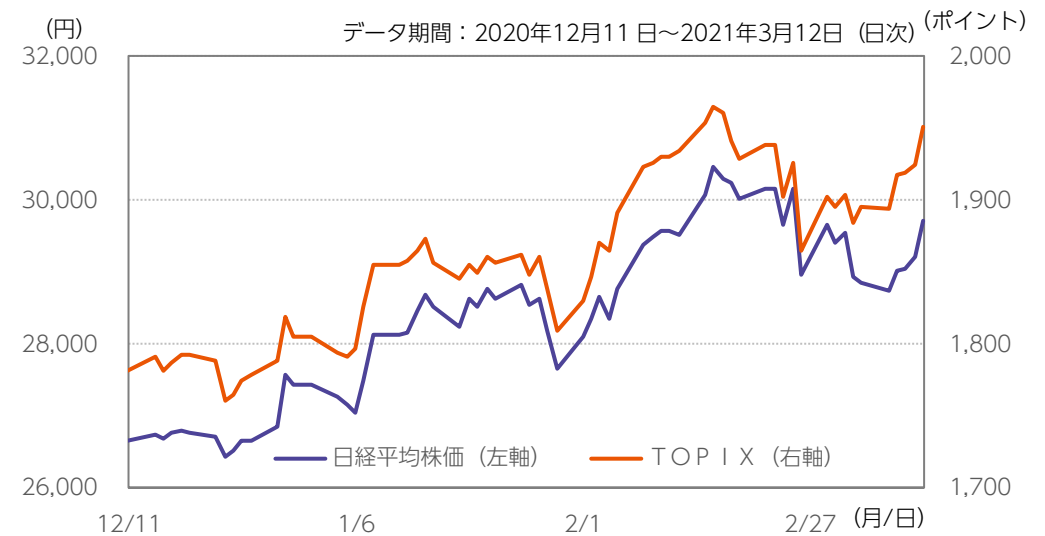
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/3/5	先週末 2021/3/12	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,864.32	29,717.83	2.96 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,896.18	1,951.06	2.89 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		31,496.30	32,778.64	4.07 ↗
S&P500種指数		3,841.94	3,943.34	2.64 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,669.54	3,833.36	4.46 ↗
S&P/ASX300指数		6,691.57	6,756.90	0.98 ↗
上海総合指数		3,501.99	3,453.08	▲ 1.40 ↘
MSCI AC アジア (除く日本)※		1,069.50	1,073.36	0.36 ↗
東証REIT指数		1,897.59	1,940.75	2.27 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		724.46	763.23	5.35 ↗
ASX300 REIT 指数		1,374.10	1,369.80	▲ 0.31 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		176.97	183.98	3.96 ↗
日本10年国債 (%)		0.096	0.123	0.027 ↗
米国10年国債 (%)		1.566	1.625	0.059 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.302	▲ 0.306	▲ 0.004 ↘
英国10年国債 (%)		0.756	0.822	0.066 ↗
ドル/円		108.31	109.03	0.66 ↗
ユーロ/円		128.98	130.29	1.02 ↗
英ポンド/円		149.92	151.75	1.22 ↗
豪ドル/円		83.28	84.62	1.62 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,920.75	2,965.09	1.52 ↗
WTI原油先物 (ドル)		66.09	65.61	▲ 0.73 ↘
CRB指数		193.45	193.79	0.18 ↗
アレリアンMLP指数		1,026.84	1,051.00	2.35 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。週初は、米長期金利の上昇を警戒し、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどから下落となりました。その後、米国で追加経済対策が成立すると、米景気の早期回復期待から週末にかけて上昇基調を強めました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

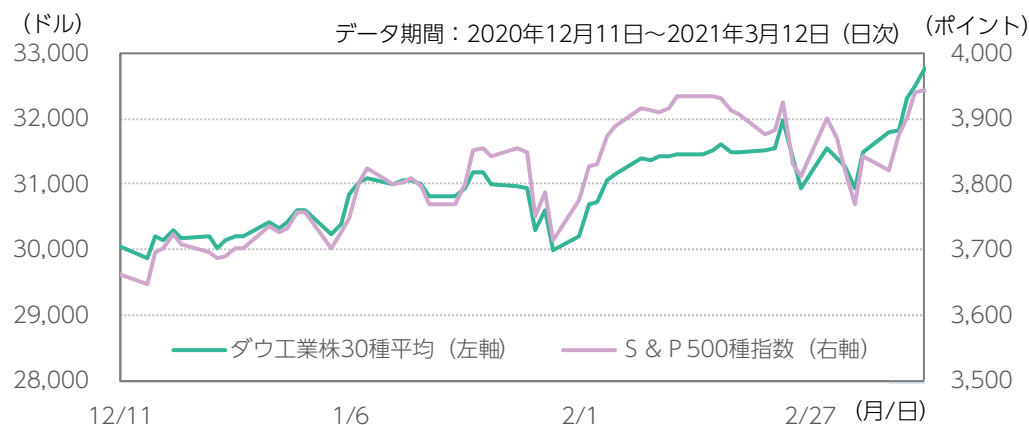
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。
 米国景気の早期回復期待から米長期金利が上昇していることや、日銀の雨宮副総裁が8日の講演で、日銀が許容する長期金利の変動幅拡大の可能性について肯定的な姿勢を示し、今週の金融政策決定会合で行う政策点検をめぐり不透明感が強まったことなどから、前週末比で上昇となりました（価格は低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

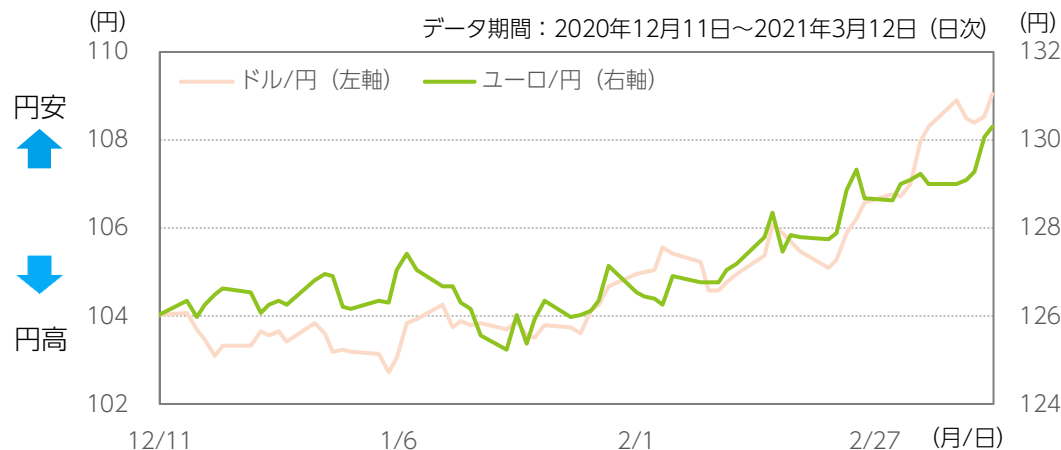
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。
 追加経済対策の早期成立期待や新型コロナワクチンの早期普及期待などから週初より5営業日連続で上昇しました。10日に米議会下院で追加経済対策が可決し、翌日に成立すると、家計への現金給付が消費を後押しするとの見方などから小売りなどの景気敏感株を中心に買われ、連日で史上最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
 2月の米雇用統計の伸びが市場予想を上回ったことなどから、週初は円売り米ドル買いが進行しました。その後は、米長期金利の動向をにらみながら週末まで一進一退の展開となったものの、週間では円安米ドル高となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米国の大規模な追加経済対策の成立期待などから、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

11日にバイデン米大統領が署名し、追加経済対策法案が成立しました。1人あたり最大1,400米ドルの現金給付などの家計中心の支援により、個人消費をけん引役に米景気回復の加速が期待されます。

今週は、日米の金融政策決定会合が開かれます。米連邦公開市場委員会では、足元の米長期金利上昇についてのパウエル米連邦準備制度理事会議長の見解や政策金利見通しの変更が注目されています。日銀金融政策決定会合では金融緩和策の点検結果報告と、足元の株価上昇を受けた上場投資信託（ETF）の購入額の柔軟化などについて議論されるとみられます。今週の株式市場は、日米の金融政策決定会合終了までは様子見ムードから、日米両市場ともに動きにくい展開が予想されます。両国の金融政策決定会合を波乱なく乗り切ることができれば、株式市場は上昇する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>